

編輯だより

○雨、雨、そしてまた雨。土用だと云ふのに此の涼しさです。まさか不景氣ですれてるわけでもないでせうが、野天を活動の舞臺に持つわれわれ工事關係者にとつては有難くない天候でした。いくら暑くとも夏は矢張りカンカン照りつけて、瀧なす汗と闘ふのでなければ本調子ではありませんね。其處に萬斛の荷味も自から湧かうと云ふものです。

○たしかイギリスの Jerome と云ふひとだつたと思ふが、天候と云ふ奴は政府のようなものだ、少し暑ければひとほひどい暑さだと云ふし、少し寒ければべら棒な寒さだと、つねに根まれる。云々と云つて決して満足することを知らない人の慾を皮肉り、同時に決して萬人満足の政治はありえないことをそれとなく云つてゐたことがあつた。なるほど如何に達觀の士でも、近頃の不景氣と不順な氣候には満足出來ないでせう。出來たらそれこそ天國ものだ。宵やみせまれば……街の乙女たちの歌ふその小唄は、そのまゝ現實の社會にもあて嵌めて云へることで、いま宵やみがこゝに迫つて、人々のなやみはてなきものあるを思ふ。

○ところで、技術者はもうそろそろその實力と權威を積極的に示しても好い時代が來たのではないでせうか。街頭のデモを敢行せよとは云はないけれど、この國の技術者團體の無力なことには齒がゆいものがある。

○

○豫定の通り、本號は河川水利工事の特辟號としました。そして本號も各寄稿者諸氏の厚意に依つて如何に切り盛りしても到底載せ切れない程の材料が集りました。従つて一般記事並に寫眞は勿論當然本誌に載せなければならぬものまで割愛するの餘議なきに至つたのです。それでも御覽の通り六十頁。本誌としては破天荒です。寫眞もそのわりに豊富だと思います。たゞ残念なことは、寫眞を生命とする畫報なので、記事や説明に或る程度までの制限を加へられることです。が然しこれは随時に適當な方法で補足して行くつもりです。

○嘉南の大堰堤工事、これは例へば堰堤の築造法、取入口の構造、送水口、餘水吐、水路、水門、等の各個々就て見ても工事畫報一冊に餘る程の研究資料に満ちた工事です。本誌には單に、概括的なその寫眞狀況を掲載して、本邦に於けるこの歴史的工事の概念を示すことにしました。水路篇は既に製版も出來てゐますが頁數の都合であつて二回位に分載の豫定です。

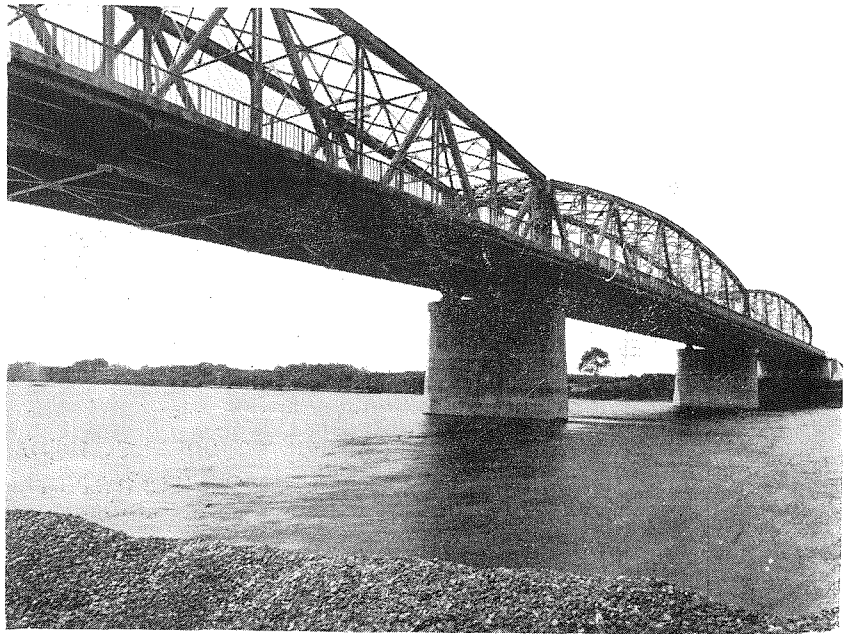
○鬼怒川の洪水豫防堰堤、信濃川の可動堰、北上川の諸工事等も、現在我國に於ける河川工事の華を集めたものと云ふべきで、個々の寫眞に就てよろしくその持つ力をうかがつて頂き度いものです。

○

○來月號は、別項社告の通り、關西地方特輯號とします。御期待下さい。(1931.7.2)

土木建築工事畫報 第七卷 第八號 定價七十錢 (稅二錢)		每月一回一日發行 一年十二冊發行
購 讀 料 壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月貳圓 稅共 六ヶ月四圓 同 一年八圓 同 外國一部 共 七十八錢 稅	昭和六年七月廿六日印刷納本 昭和六年八月一日發行 編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京府北豐島郡長崎町三六二九 印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	大賣捌所 及支局 東京堂・東海堂 大東館・北隆館 廣告部 關西支局 大阪市西區北堀江 通一丁目二五番地 電話新町三四六五
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話丸ノ内二六三三番 振替東京七〇貳六番	

横濱船渠の橋梁



内務省東京土木出張所御註文

水 府 橋 水戸市大字上市 那珂河
橋長 171米 幅員 11.02米

營業科目

鋼橋梁、鐵塔、鐵柱、鐵骨、鐵構、タンク類、電
氣銲接水道用瓦斯用鋼管、横濱 M, A, N デイゼ
ル機關、汽罐、汽機、ポンプ 其他諸機械類其他

横濱船渠株式會社

本 社 横濱市中區長住町三番地
電話本局 1431 (代表)
東京出張所 東京市丸ノ内一ノ六、海上ビル新館
電話丸ノ内 4672 4625
大阪出張所 大阪市北區宗是町一、大阪ビル
電話土佐堀 4393

鐵の防錆・混凝土の防水

■特性

乾燥 迅速 皮膜 強靱
 強靱弾力に富む 附着力 強大 耐久力 永続的 防水力 絶對的 使用法 簡易

■抵抗力

酸 アルカリ 鹽 水 沼氣 アムモニア等に對し 強大なる抵抗力を有す

■價格低廉 品質外來品を凌駕す

■應用範圍

(土木工事)

水力發電 護岸改修 堰堤 貯水池 橋梁 高架鐵道 地下鐵道 上下水道

(建築工事)

鐵骨の防錆 基礎 地下室 陸屋根 水槽 淨化槽等の防水 多年諸官廳 各都市 全國諸工場へ納入し 頗る好評を博せり 御要求次第説明書御送付す。

保塗 護料

クロナイン

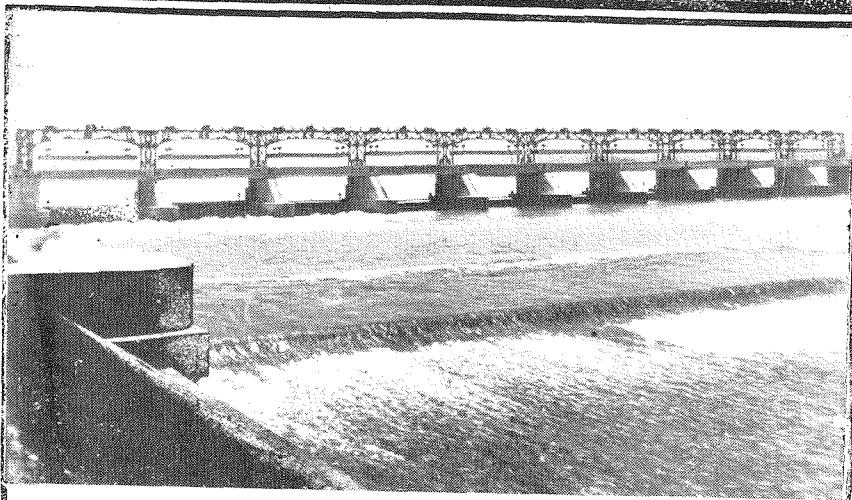
耐酸 耐鹽 耐アルカリ

東京市芝區高輪南町五十三番地
 (電話高輪44番七三七)

吉田組

播

鐵



内務省 信濃川可動堰鋼扉並ニ其構脚橋 (弊所製作及架設)

磨

骨

營業種目

- 一、船舶新造修繕
- 一、諸機械汽罐製造販賣
- 一、橋梁、鐵骨建築工事
- 一、油槽水槽瓦斯槽工事
- 一、水壓鐵管送電鐵柱工事
- 一、土木工事



株式 播磨造船所 會社

兵庫縣赤穂郡相生町
電話相生一四・一五・一六・二二

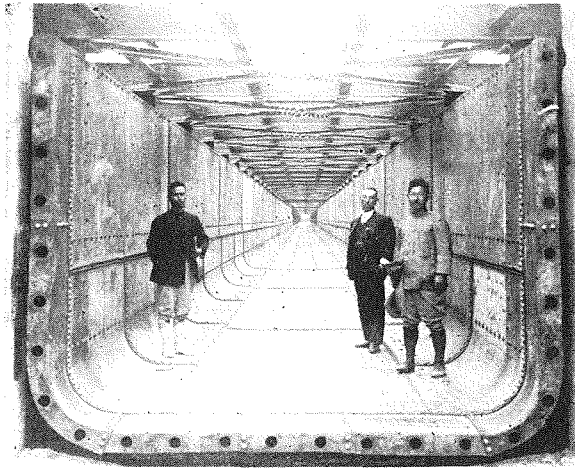
神戸事務所

神戸市仲町三六 興銀ビルヂング
電話三宮 三四五〇

東京事務所

東京市・麴町區・丸ノ内東京海上
ビルヂング 電話丸ノ内 二二七

月島機械株式會社



臺灣嘉南大圳組合曾文溪水路橋斷面
水路極高 8 尺、幅 10 尺

東京市京橋區新佃島西町一丁目

分 工 場

電話 京橋 三三三九番

常務取締役 宮崎好文

本 社

東京市京橋區月島五丁目

電話 京橋

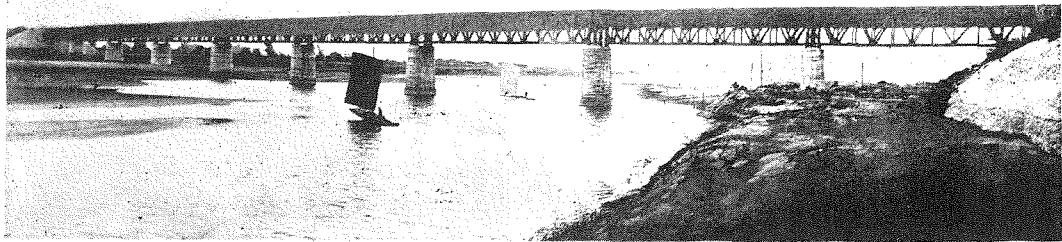
二二〇三〇番
二〇五〇番
四四四二番

社 長 黑板傳作

製 作 品 目

- 汽機、汽罐、
- 渦卷唧筒
- 甘蔗壓搾機、
- 真空蒸發罐、
- 濾過器遠心分離機
- 真空唧筒、其他
- 製糖用並化學工業
- 用諸機械一式
- 起重機、昇降機、
- 輸送機勞力節減
- 裝置各種
- 砂利採收機、各種
- クラツシヤ、其
- 他土木用機械、發
- 電所用壓力鐵管、
- 水門扉、鐵塔、
- 鐵橋、鐵骨建築一
- 切

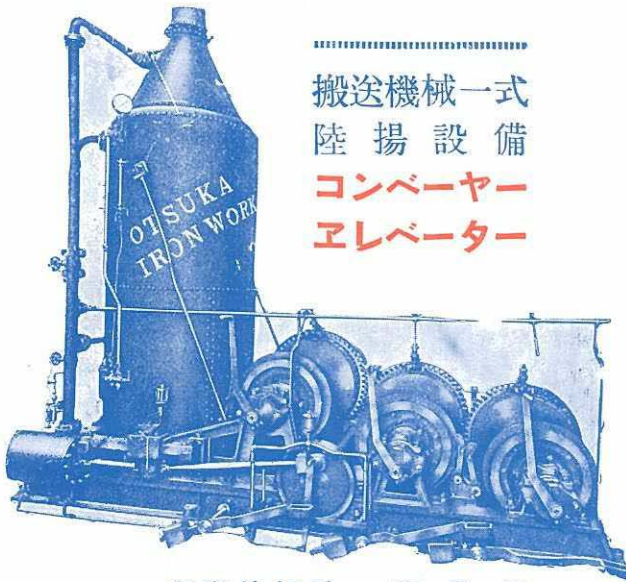
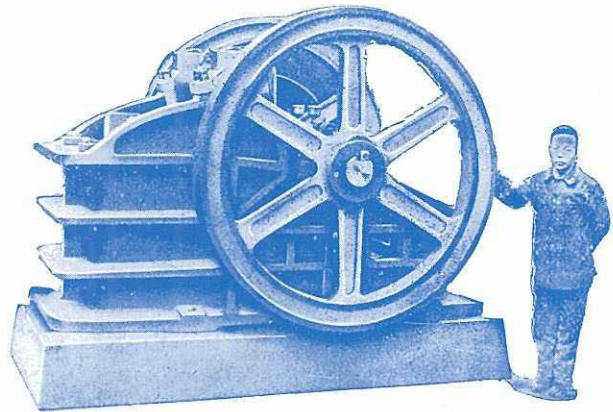
曾文溪橋全景。橋長 1,119 尺、徑間長 120 呎九連。



土木建築用 機械一式

特許 **チルド** 車輪各種

土木用運搬車各種



運搬杭打用 捲揚機

搬送機械一式
陸揚設備
コンベヤー
エレベーター

ブレーキクラツシヤ
碎石用トシテ最モ適ス

碎石機械各種
砂製造機械
混凝土 **ミクサー**
排水 **ポンプ** 各種
コンプレッサー
起重機 捲揚機
鐵桁、鐵柱類

株式會社

大塚工場

東京市芝區三田豐岡町六六

電話三田一一六二・一一六三



日立製作所

日立電動浚渫用ジブクレーン



(茨城県三村耕地整理組合納)

容量……………2½噸	捲揚用電動機……………40馬力
揚程基面上……………9呎	旋回用電動機……………5馬力
々基面下……………12呎	臺船ノ大サ……………全長45尺
半徑……………18呎	全巾……………19尺
作業回数……………50-60(毎時)	全深……………4.5尺

工場
 日立工場 茨城県助川驛
 亀戸工場 東京市外龜戸驛
 笠戸工場 山口縣下松驛

製品概目
 發電機 變壓器
 電動機 配電用品
 扇風機 電氣收塵裝置
 水電計器類 各種唧筒
 起重機 捲揚機
 送風機 空氣壓縮機
 蒸氣機關車 鐵道用諸機械
 鐵管、橋桁 裸銅線
 艦船用諸機械 絕緣ワニス類
 各種電線

營業課 本社 内
 大阪 大阪市北區中ノ島二ノ四
 營業所 (電話長一六五・四八〇一四八〇五
 本局四八〇三・四八〇四・四八〇五)
 九州 福岡市博多片土居町四二
 營業所 (電話特長一三七五・一七三三
 電話本局四一五五)
 名古屋 名古屋市中區新柳町
 營業所 (電話本局四一五五)
 大連 大連市若狹町三
 販賣所 (電話本局六三九四)
 京城 朝鮮京城南山町二ノ三二
 販賣所 (電話本局二二〇四)
 札幌 札幌市南大通り西一
 販賣所 (電話本局二二〇四)
 電話本局二二〇四

株式會社 **日立製作所**
 東京市丸之内仲十五號館
 代表 二五九二二五九九三
 電話 (25) 二五九二二五九九三
 丸の内 (25) 二五九二二五九九三
 二五九二二五九九三
 二五九二二五九九三